

科学研究費助成事業（特別推進研究）研究進捗評価

課題番号	23000012	研究期間	平成23年度～平成27年度
研究課題名	病原細菌の自然免疫克服戦略の解明とその応用		
研究代表者名 (所属・職)	笹川 千尋（東京大学・医科学研究所・名誉教授）		

【平成26年度 研究進捗評価結果】

該当欄		評価基準
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
（評価意見）		
<p>本研究課題では、1) 赤痢菌エフェクター機能と標的宿主因子の包括的解明、2) 赤痢菌自然感染マウスモデルの開発、3) エフェクター機能阻害剤の同定、の3つのテーマが掲げられている。1) に関しては、これまで同様に他の追随を許さない研究の発展が見られ、世界的にも最先端の研究が展開されている。2) に関しては、感染成立に腸内細菌叢の影響が大きいことが報告されたが、その詳細な機序の解明が研究の発展に必要である。3) に関してはアッセイ系を樹立し <i>in vitro</i> の系において候補化合物が得られたことは評価できるが、<i>in vivo</i> 効果のスクリーニングに関し新たな戦略が必要と思われる。目標は高く、困難もある難しい研究課題であるが、本研究期間を通して優れた研究成果を上げるものと期待される。</p>		